

自転車を楽しむ Fun Ride 調査・発信事業

mid-term report



特定非営利活動法人 都市デザインワークス

市民と行政と民間企業と共に長期的・持続的・総合的な視点による個々の利益ではなくみんなの、まちの利益となる新たな都市づくりを実現するため、都市の具体的な将来像を共有し、その実現に向けて様々な主体と連携しながら、企画から計画、設計、運営まで携わる、一貫した都市デザインを実践する。



都市ビジョン提言事業



都市・まちづくりに関わる
コンサルティング事業



良好な都心居住に寄与する
建築物の計画、設計事業



ワークショップの企画
ファシリテーター派遣事業



まちの基本情報の
提供・出版事業



フォーラム等の
企画・運営事業



講師等の派遣事業



広報サポート事業

設立 2002年8月
所在 仙台市青葉区
会員 30名
所員 5名

<事業概要>

(1) 課題の把握

- 都心部における自転車は、安全安心を脅かす存在という捉えられ方があり、条例制定以降さらに主流化している。
- **自転車利用者のマナーやルールの理解度はさまざま**
市政モニターアンケート(平成30年4月)「ルールの理解度」は項目ごとに理解度がバラつく。
- 自転車の「楽しさ」が感じられる観点を重視した行政施策の立案が必要

(2) 事業の目的

- 自転車の“自由さ”と、健康に良い・環境に優しいといった“多幸感”を生かした「ファンライド」という楽しみ方が、市民・観光客へと広がる。
- 令和3年度を計画期間初年度に予定する次期「仙台市自転車利用環境総合計画」における質の高い環境づくりへと繋がる。

<事業概要>

(3) 具体的な数値目標

■ 協働テーブルの設定：隔月程度で開催

市民団体、企業、公共施設、専門家、行政が、自転車利用環境づくりに主体的に参画し、さらなる市民の関わりの機会を創出する。



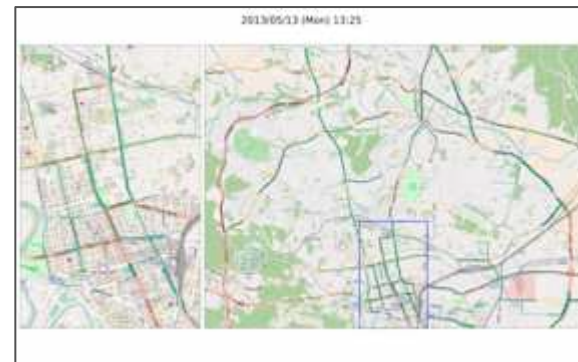
■ 協働でつくる「ファンライド」コンセプト十ヶ条

市民が取り入れたいくなる自転車の乗り方・楽しみ方をつくる。



■ 定量的データの調査：約五十人・台分の経路

都心部自転車ネットワーク路線の課題や魅力を明らかにする。



<課題>

自転車の楽しさを重視したまちづくり
・行政施策の展開

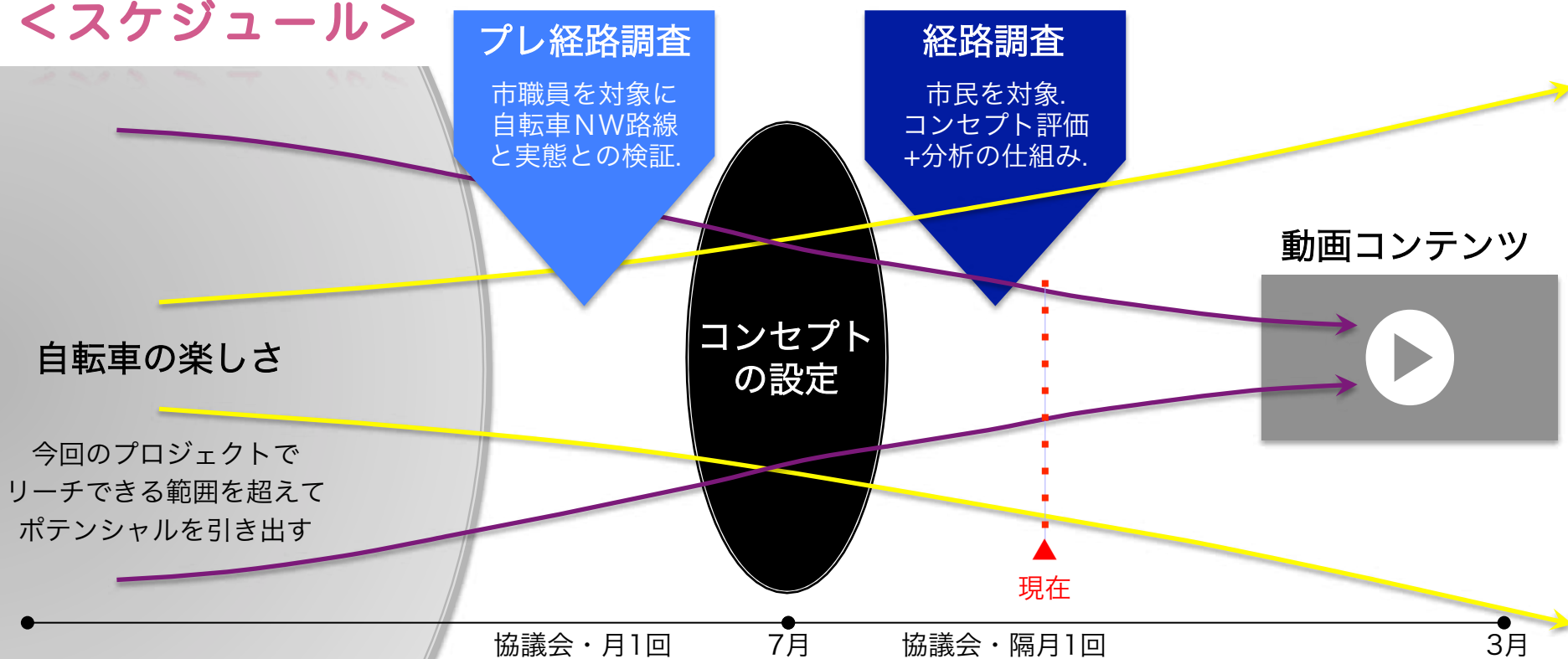
<仮説>

自転車の“自由さ”
“多幸感”を生かす
ファンライド

<内容>

- ① 経路調査
- ② 動画コンテンツ制作
- ③ 協議会

<スケジュール>



協働のテーブル

(仮称) SCPファンライドマネジメント協議会

メンバー 長江剛志(東北大学技術社会システム准教授), 氏家滉一(都市設計), 山口雅之(自転車の山口屋), Metro Cycling Club(善積,佐々木,狩野), 仙台市自転車交通安全課(黒川,小山,佐藤), 都市デザインワークス

	日時／場所	内容
第0回	4/27(月)17:00-18:00 オンライン	<ul style="list-style-type: none">● 自己紹介● これからの自転車の可能性
第1回	5/20(水)16:00-17:30 オンライン	<ul style="list-style-type: none">● 市内の自転車利用環境● ファンライドのコンセプト&ターゲット
第2回	7/1(水)16:00-18:00 青葉の風テラス	<ul style="list-style-type: none">● ファンライドのコンセプトとりまとめ● ファンライド発信の取組み・アイデア● 経路調査(市職員モニター結果速報)
第3回	9/2(水)16:00-18:00 青葉の風テラス	<ul style="list-style-type: none">● 「新・交通プラン」について【情報提供:交通政策課】● 経路調査(市民モニター募集状況、市職員モニター結果)● 映像制作の方針・役割分担



コロナ禍でのオンライン会議



意見交換の板書



7月から対面での会議



交通に関する勉強会

自転車の5つの楽しみ方(案)
[ファンライドのコンセプト]

ソーシャルディスタンス

安心できる走り

個々を尊重

疎/分散
を楽しむ
sparse, distant, spread

利用目的ミックス

まちへの愛着

オフラインの繋がり

ついで
を楽しむ
incident, convenience

広い都市・選択肢

坂道を乗り切る

リーチを楽しむ
reach

スマートな移動・交通
公共交通機関とのジョイント
(自家用車・徒歩の代替)

場所を選ばない

自由な選択

自然を体感

道のり
を楽しむ
way, distance, journey

**ファン
ライド**

(効果)QOL
を楽しむ
effect, result

ファッション・個性

健康を実感

環境に優しい

検討にあたっての資料

□ ウィズコロナ・アフターコロナ

- **新しい生活様式**
屋外での遊びの推奨、公共交通機関と徒歩・自転車の併用
- **近隣環境への関心**
テレワーク・時差通勤の増加、テイクアウトの立寄りや混雑の少ない通りの走行による、居住地周辺・郊外への関心の高まり
- **メンタルヘルス**
公園・川沿いのオープンスペースでのレクリエーション、心を解放するためのアイテム・ツール
- **仙台市新型コロナウイルス感染症緊急対策プラン**
1-①感染拡大防止「5.自転車の利活用促進」

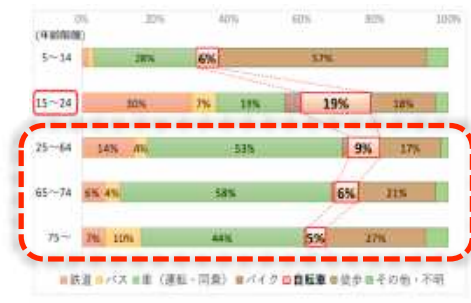


□ 市の計画

- **自転車の安全な利活用推進計画[2021-2025]**
1.自転車の安全利用意識のさらなる向上
2.自転車を安全・快適に利用できる都市環境の形成
3.自転車の強みを発揮した地域の活性化
- **総合計画[2021-2030]**
タイトル: 挑戦を続ける、新たな杜の都へ ~”The Greenest City” SENDAI~
②-03 持続可能な都市インフラをつくる
「公共交通機関や自転車などの環境に優しい移動手段の利用を広げます」
☆コロナの計画への影響
(教育・子育て分類)「徒歩・自転車圏で楽しめる空間づくり」
「徒歩や自転車を中心とした、環境負荷の低いライフスタイルの実践」
- **杜の都環境プラン[2021-2030]**
環境にやさしい交通手段が選択されるような取り組み
- **新・交通プラン[2021-2030]**
自転車走行環境・駐輪場の整備(都心/郊外)、サイクル&ライドの推進
- **都市計画マスタープラン[2021-2030]**
- **スポーツ推進計画[2022-2026]**

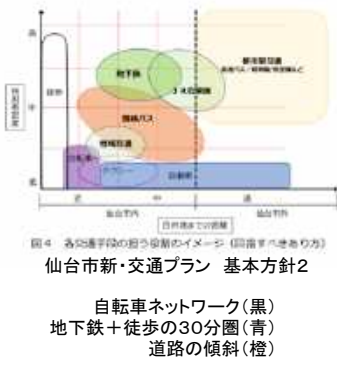
□ ターゲット層(現況より)

- 健康志向の老夫婦,若い夫婦・カップル
- 近隣市町から訪れる若者
- 利用目的をミックスさせて遊び尽くすファミリー層 など



□ 5キロ圏

- 到達時間で自転車が最も優位なのが5キロ圏内
- 都心部と郊外の住宅地・観光地



経路調査

コロナ禍での実施となったため、対象範囲を仙台市都心部に拡大し、主に「自転車ネットワーク路線」に対する自転車走行の実態を把握する調査とした。

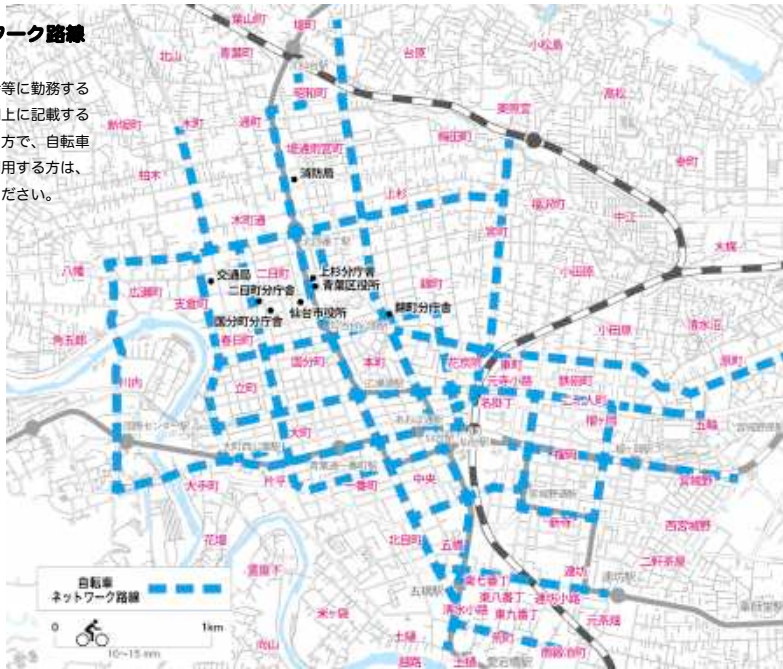
- 仙台市職員を先行的な調査対象として設定
- 自転車で利用する経路情報の提供に協力するモニターを募集
6/1 募集開始(庁内掲示板, 各課への協力依頼)
7/10頃 募集〆切
- モニターにはGPS機能付きサイクルコンピュータを2週間貸し出して各自で記録
- 返却されたGPS情報は東北大学・長江准教授に可視化を依頼

各区・市外からの通勤者,
20代~60代, 男性多数

市職員モニター数: 43名

自転車ネットワーク路線

本庁舎や分庁舎等に勤務する方、または地図上に記載する住所に居住する方で、自転車を週3日以上利用する方は、調査にご協力ください。



GPSサイクルコンピュータ

サイクルコンピュータは自転車に取り付けて [速度] [走行距離] 等を計測する機器のことです。

今回使用する【iGS130】は、GPS位置情報を用いて測定するタイプのなかで、**取り付けるものが少なく機能がシンプルなので取り扱いが簡単で比較的安価な製品**です。

充電容量は最大22時間なので、自転車の乗り降りの際に電源のオン/オフをしてもらえれば**2週間、充電なしでも保つと思われ**ます。



どんな自転車にも取り付けられるので、もちろんデータバイクにも可能です。取り付けを省略されたいときは、**オンの状態でカバンやポケットに入れて走行しても、ほぼ問題なく測定**できます。


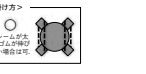
パソコンにUSBケーブルで接続してデータをアプリケーション (Strava など) に取り込むと、マップに走行ルートを表示できます。(スマホとは接続不可)

新しい自転車の楽しみが見つかるかもしれません!



GPSサイクルコンピュータの使い方 い・ろ・は 2020.6

- サイコンの土台となる器具を取付けます。突起のある部品を2個と、ゴムの輪っか2個を使いませう。
- ラバー素材の部品を下にして置く。取付けたい箇所で輪っかを実際に引っ掛け、裏側を通して、反対側に掛けます。
- もう一つの輪っかと同じように掛けたら土台は完成です。輪っかのゴムは堅めなので力一杯に引っ張ります。

<取付け画面>   

- サイコン本体の裏面と器具の組み込み向きを合わせて、90度回転させると、「カクーン」としっかり固定されます。
- 本体下部の**左ボタン**を長押しすると電源が入ります。
- 本体前面の左上にGPSマークが表示されたら準備完了。屋内ではGPS検案ができません。初期や使用頻度が低い場合、屋外でも表示まで20秒程度かかります。先に？へお進み下さい。

中央の数字は走行速度の表示、下部の数字は右ボタンで表示を切替える 距離表示

- 走行の直前に左ボタンを押して、画面右上の**設定メニュー**(M)が表示されたことを確認して下さい。マークが表示されていない状態で走行速度等は表示されず、走行中には必ず**設定メニュー**を確認して下さい。
- 記録の都合で記録を中断したい場合は、左ボタンを押すと停止メニュー(L)が表示されます。GPS記録は続きます。GPS記録は残りませう。記録を再開する際には、もう一度左ボタンを押して下さい。
- 走行が終了したら**左ボタン**を長押しして電源をオフにします。**記録メニュー**は残っています。忘れずにオン/オフすれば、2週間充電せずに使えます。充電が完了したら、再度電源が切れた場合、再度の充電が必要です。

Attention!

<GPS電波障害>
サイコンのGPS機能は、ビルや街路樹などの影響を受けます。表示される速度が急に変化する可能性があります。

<安全運転>
道路中は周囲の状況ばかり気にして走ると事故に遭うことも考えられるので、くれぐれも安全運転を心がけて下さい。

Please!

<持ち歩き>
自転車で走行中にサイコンを操作する際は、本体を回転させて取り外し、カバンに入れる等して持ち歩き、誤解防止に努めて下さい。

<DATEBIKE>
DATEBIKEのアプリを利用する際にもサイコンを持ち歩き下さい。その際は電源をオンにして記録マーク(▶)が表示させて、本体をカバンやケートに入れて走行して下さい。

<雨の日の利用>
サイコンは防水仕様なので、急な雨の日でも安心してお使い下さい。

Contact

分からない事やお困り事などありましたら、お気軽に市民局 自転車交通安全課 推進係の依頼までご連絡ください。

電話：022-214-1075 (内線 726-2822)
メール：masumi_satou_2@city.sendai.jp

サイコンの詳細な使い方

電源オンの状態で右ボタンを押すと、画面下部の表示が5つの項目に切り替わります。

TM	>	DST	>	AV	>	MX	>	ODO
走行時間		走行距離		平均速度		最高速度		走行記録

Ex)

Q 1日でのどのくらいの距離を移動した?
A [DST]をチェック

Q 調査期間中の平均速度はどのくらいの速さ?
A [AV]をチェック

※右ボタンには100時間分のGPSデータも記録する容量があります。

パソコンとの接続

サイコンをUSBケーブルでパソコンに接続すると、充電ができるほか、サイコンに記録されたGPSデータファイルをパソコンに読み込むことができます。

<読み込み方>
STRAVAというウェブアプリに登録(無料)して、「アップロード」ボタンをタップして、「ファイル選択」からサイコン内の出力ファイルを選択し、走行ルートが地図上に表示されます。

※右ボタンには100時間分のGPSデータも記録する容量があります。



➤ サイクルコンピュータの取扱説明書と動画を制作

➤ 一般市民に対象を広げてモニターを募集

9/1 募集開始 (特設ページをUDWホームページ内に開設, 市政だよりに掲載)

10月中 追加募集予定 <https://udworks.net/bicycle>

10代~70代, 男女
学生・会社員・主婦・高齢者など

現在、市民モニター数: 20名

➤ モニターへのアンケートでは、オススメの路線、課題のある路線、自転車の選択理由、コロナの影響などの設問を設定

➤ 中途の調査データを次期「自転車ネットワーク路線」の基礎資料として活用中

ファンライドコンセプト動画

自転車の5つの楽しみ方を表す映像

- コンセプトの多様性を活かすため、複数の主人公を人物設定
- 異なるストーリーが一つの動画の中で調和
- モニターの中から出演者を募って、大人数で実現できる迫力を演出するシーンを検討
- 調査データを活用したグラフィックを検討

映像を発信する仕組み

- SNSでの広がり・繋がりを生むよう、ハッシュタグの活用などを検討
- 協議会メンバーが各々で積極的に発信

参考となる多様性を生かした発信 (Raphaサイトより)



役割分担・協働内容

都市デザインワークス

- [協議会]
進行・資料作成・記録
- [経路調査]
基礎データ収集
モニター募集、集計・分析
- [動画コンテンツ]
ディレクション

市民局 自転車交通安全課

- [協議会]
出席・情報提供
- [経路調査]
モニター募集
- [動画コンテンツ]
各種手続き

自転車活用の視点



安全利用の視点

月1回程度の打合せ

協働による成果

1. コロナ禍における機転

- ・調査方針(エリア, 検証内容, 対象者など)の適切な変更を行った[仙台市・UDW]
- ・国内外の情報を収集することで、コンセプトメイキングの枠を拡張した[協議会]
- ・緊急事態宣言の最中においても協議会をオンラインで開催した[協議会]

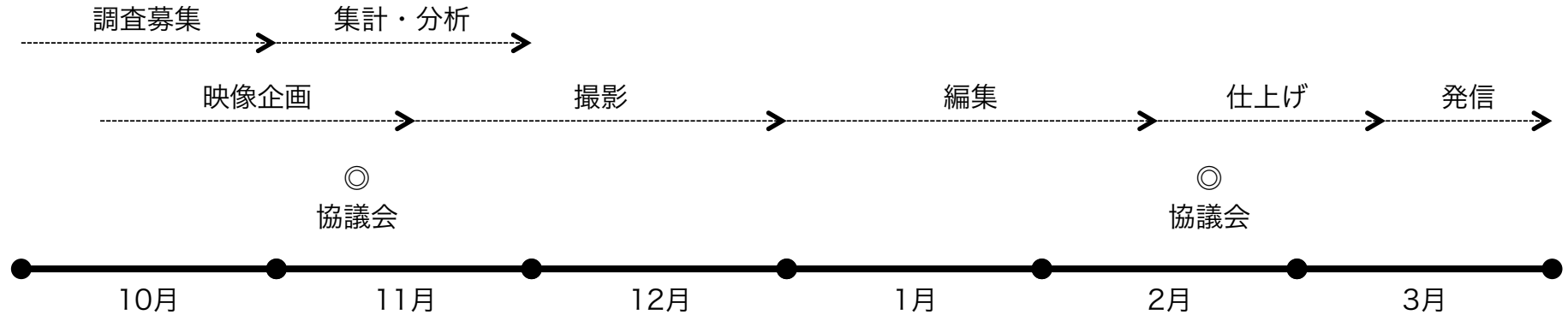
2. 前例の少ない調査手法の実施

- ・徹底したリサーチによるコストパフォーマンスの高い調査手法を準備を整えた[UDW]
- ・市職員に先行して行うことで、テストケースをつくることができた[仙台市・UDW]
- ・行政職員の事務能力による適切な実行プロセスが確立した[仙台市]

3. 有効な情報提供

- ・動画による分かりやすく間違いの生じない調査モニターへの説明を行った[UDW]
- ・GISデータによる都市スケールでの実態を把握した[UDW]
- ・協議会において関係部署を招聘した勉強会を行った[仙台市]

今年度の予定



次年度以降の事業展開

■ せんだいセントラルパークをモデルにした事業展開

自転車を含む将来的な交通の在り方, 実態把握データの在り方

Ex) トランジットモール, Non-Motorized Vehicle, 自動運転電気バス コミュニティサイクルのGPS分析

■ 次期「仙台市自転車利用環境総合計画」モデル事業

Ex) 自転車レース等の社会実験, サイクルツーリズム・ロゲイニング等の体験プログラム

■ 企業との連携強化, 総合計画・環境基本計画・新交通プラン等との連動

Ex) 自転車活用フェアの開催 ウォークابل&バイカブル, 水辺のサイクルツーリズム